

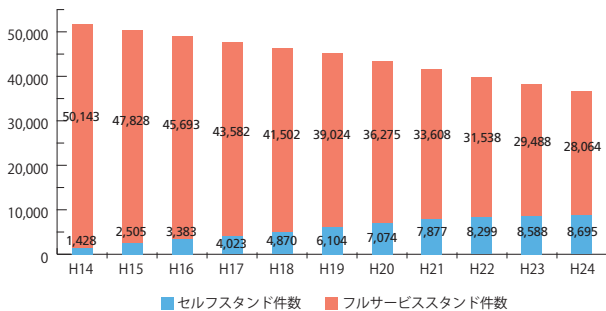
セルフスタンドにおける安全な給油について

危険物保安室

セルフスタンドの現状

ドライバーが自ら給油を行うセルフサービス方式の給油取扱所（セルフスタンド）は平成10年4月から認められた比較的新しいガソリンスタンドの形態です。それまではドライバーが自ら給油を行うことは対応する安全対策がとられていないため認められていませんでしたが、セルフスタンドについて検討が行われた結果、一定の安全対策を講ずれば従来のガソリンスタンド（フルサービススタンド）と同等の安全性を確保することが確認され、セルフスタンドが認められることとなりました。

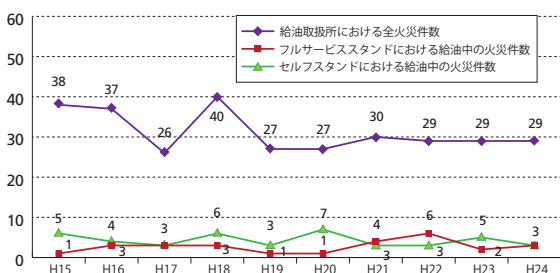
近年、ガソリンスタンドの件数は減少傾向にあります。これとは対照にセルフスタンドは増加しており、平成24年3月末現在では、8,500件を超えています。



セルフスタンドの安全対策の改正経緯

セルフスタンドにおいて給油中に自動車の給油口付近で静電気が原因と考えられる火災が発生したことを受け、「火気厳禁」「給油中エンジン停止」「ガソリンの容器への注入禁止」など保安上必要な事項を記載する注意書きに「静電気対策に係る事項」を加えるよう、平成13年に各消防本部に通知しました。

また、セルフスタンドの火災発生割合がフルサービススタンドに比べると高いことから、平成19年には危険物の規制に関する規則（昭和34年総理府令第55号）を改正し、給油ノズルは、静電気を有効に除去することができる構造とすることや給油中に吹きこぼれたガソリンが顧



給油取扱所1万施設あたりの給油中における火災事故発生割合

	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
セルフスタンド	24.0	11.8	7.5	12.3	4.9	9.9	3.8	3.6	5.8	3.5
フルサービススタンド	0.2	0.7	0.7	0.7	0.3	0.3	1.2	1.9	0.7	1.1

客に飛散しない措置を講ずること等が規定され、セルフスタンドの設備に関する安全対策を強化しました。

給油方法

※自動停止したら追加給油しないで下さい。油があふれる恐れがあります。
※給油方法がわからない場合や異音、油の吹きこぼれ等異常がある時は直ちに給油を停止し係員へ連絡して下さい。



静電除去シート(はら)に付ける



ノズルを給油口に挿入



レバーを引く



ノズルを戻す



給油口を閉じる

給油時の注意事項 (必ずお読み下さい)



給油中は給油口より目を離さないで下さい。
満タンになると給油を自動停止しますが、次の場合には油があふれる恐れがあります。
① 車庫によるエアへの抜けが早い場合
② ノズルレバーを少しだけ引いてゆっくり給油した場合
③ バイク等で給油口へのノズルの挿入が浅い場合
※油があふれたときはすぐにレバーを戻して下さい。
・ノズルを取る時および給油口からはずした状態ではレバーに触れないで下さい。



油種確認



火気厳禁



エンジン停止
バイク下車



車の燃料タンク以外の給油禁止



携帯電話使用禁止

給油中の主な注意事項

セルフスタンドでドライバーが給油する際には、次の点に十分ご注意ください。

- 静電気除去シートなどにより静電気を十分除去すること。
- 車に給油する油種を十分に確認すること。
- ライター、たばこ等の火気は使用しないこと。
- ガソリンの容器への小分けは行わないこと。
- 自動車又は原動機付自転車以外（例：水上バイク等）への給油は行わないこと。

その他、計量機に表示されている使用方法、注意事項を必ずお読みください。またご不明な点があれば、計量機付近に設置されているインターホンでセルフスタンド従業員へお問い合わせください。

その他

セルフスタンドにおける給油に関しては、下記のホームページをご参考に、安全に給油してください。

- 総務省消防庁：セルフ給油に関する注意事項
http://www.fdma.go.jp/html/new/self_atten.pdf
- 総務省消防庁：ガソリン等危険物の事故防止について
<http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/gasoline/keihatu.html>
- 石油連盟：セルフ給油での油吹きこぼれに関する注意事項
http://www.paj.gr.jp/paj_info/topics/2006/12/19-000282.html

問い合わせ先

消防庁危険物保安室危険物施設係 中嶋・各務
TEL: 03-5253-7524